

# 第8期光市まちづくり市民協議会 意見集

～第3次光市総合計画の推進及び第4次光市総合計画の策定に向けて～



令和7年3月

# 目 次

1	意見集の目的・役割	1
2	ご意見・ご提言の一覧	1
	基本目標1 限りない市民力・地域力がゆたかに花開くまち	1
	基本目標2 ゆたかな人間性と可能性を大切にし心温かい人が育つまち	2
	基本目標3 安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち	3
	基本目標4 自然と都市が潤いゆたかに調和したまち	4
	基本目標5 産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち	5
	基本目標6 市民参画と健全な行財政運営でゆたかさを創出するまち	6
3	第8期まちづくり市民協議会委員名簿	7

## 1 意見集の趣旨・役割

この意見集は、第8期光市まちづくり市民協議会の委員の皆様から会議の場などでいただいたご意見やご提言について、第3次光市総合計画の基本目標ごとに取りまとめたものです。

今後、意見集は市内部で共有するとともに、掲載されたご意見・ご提言について、各担当部署において、取組に直接反映するもの、ご意見の趣旨をヒントにするもの、対応が困難なものなど適宜整理し、第3次光市総合計画の推進及び第4次光市総合計画の策定に役立てていきます。

## 2 ご意見・ご提言の一覧

※< >内はご意見・ご提言の大まかな政策分野を掲載しています。

### 基本目標1 限りない市民力・地域力がゆたかに花開くまち

#### <地域コミュニティ・市民活動>

- ・地域コミュニティは地域で生活していくための基本中の基本であるが、高齢化が進む中でコミュニティの維持が困難な状況
- ・光市に住んで、市民が何らかの活動をすることができる場づくりが必要
- ・よそから来た人と地元の人がもっとつながって安全・安心な地域づくりを
- ・様々な事業を実施する際、市とコミセンとの連携をしっかりと取り、事業の周知や参加者の呼びかけに力を入れてほしい

#### <人権・男女共同参画>

- ・LGBTQやパートナーシップ制度が幅広い分野で広がってほしい
- ・ジェンダーレスの制服の導入を
- ・共働き世帯が増える中、男女共同参画と子育ての政策を一緒に考えるべき
- ・家庭内における家事などの役割が平等に分担されている若い夫婦が増えてきたと感じている

#### <文化・スポーツ>

- ・若者から高齢者まで世代を超えて市民が気軽に集まれる健康パークをつくってほしい
- ・文化センターは庭も含めもっと若い人が集まるような活用の検討を
- ・下松の「笠戸島アイランドトレイル」のような大会をコバルトラインを活用して実施してみてもどうか

## 基本目標2 ゆたかな人間性と可能性を大切にし心温かい人が育つまち

### <結婚・出産・子育て>

- ・(子育てにかかる) お金の支援をするよりも、若者が集まり交流する場所づくりなど結婚する人を増やす取組を
- ・こども食堂を“地域食堂”とし、孤食が課題となっている高齢者も来られるよう(運営の担い手としても)にし、子どもと高齢者双方 win-win となる場所に
- ・共働き世帯が増える中、男女共同参画と子育ての政策を一緒に考えるべき(再掲)
- ・「おっぴい都市宣言」のまちづくりを尖らせていってはどうか。パートナーシップ制度による養子縁組の方、母子家庭・父子家庭の方を積極的に受け入れ、地域ぐるみで子育てを応援するなど、光市にしかできないことを形にしていけば良い
- ・子育てに悩む親が集まり相談できる場所をつくり、必要に応じて専門家による支援を受けられる機会の提供を

### <教育>

- ・キャリア教育では雇われるだけでなく、雇う側になる選択肢も示してほしい
- ・子どもたちの自信の醸成を目的に、例えば海を活かした中学生と異年代との交流の場をつくる
- ・挨拶運動は、子どもからではなく大人から挨拶する習慣をつけていく必要がある
- ・ひかり学園構想について、市民にはあまり認知されていない。地域では様々なうわさが立っており早めに将来的な方向性を示してほしい
- ・やまと学園や新浅江中学校では、質の高い教育環境をしっかりとPRし、他市から人を呼び込んで来るくらいの強気の姿勢を持ってほしい
- ・放課後に子どもたちが安心して気軽に時間を過ごせる、友達づくりにも資する場所をつくる。施設を新たにつくるよりも既存施設の子どもの利用料を無料にするなどの工夫を
- ・部活動の地域移行にあたり、子どもたちの活動の場が少なくなることや、移動手段をどのように確保するのかが不安
- ・部活動の地域移行の準備が進んでいると認識しているが、部活動へ参加するための手続きはどのようになるのか等、小学生の子を持つ親として不安。情報提供をお願いしたい
- ・ジェンダーレスの制服の導入を(再掲)

### 基本目標3 安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち

#### <高齢・障害福祉>

- ・こども食堂を“地域食堂”とし、孤食が課題となっている高齢者も来られるよう（運営の担い手としても）にし、子どもと高齢者双方 win-win となる場所に
- ・高齢者の集いの場に子どもたちが参加するなど、色々な世代が関わる工夫を
- ・飲食店の撤退は高齢者の集まる場所にも影響。コミセンなどを活用して高齢者が集まれる場づくりを
- ・障害者への支援も大切。あいサポート運動、あいサポートの育成や担い手の確保など、ボランティアの入口になり得るもののため今後も取組を進めるべき

#### <防災・減災・消防>

- ・防災倉庫の各種物品の備蓄量は、しっかりとした予測のもとで十分な確保をお願いしたい
- ・山火事が起こらないよう気をつけていく、市民の皆さんへの意識付けも重要。また、毎月1回は防災の日とするなど、防災に対する意識を高くもつ工夫が必要

### 基本目標4 自然と都市が潤いゆたかに調和したまち

#### <都市・公園>

- ・光市の特徴として、賑わいの場がバラバラに分かれていることが課題
- ・光駅を中心にコンパクトなまちづくりをしてほしい
- ・光駅周辺は、空きビルや雑草などでまちが汚く感じる。クリーン光だけでなく日頃からまちを綺麗にする活動を
- ・光駅周辺で遊ぶことができる賑わいの空間づくりを
- ・光駅周辺で待ち合わせ場所やカフェなどの立ち寄りところがほしい
- ・光駅は防犯面から街灯を十分に整備し、明るい場所にしてほしい。街灯をつけるならスポンサーの活用検討を
- ・光駅ホームの段差解消を
- ・光駅の整備が目立つが、他の2駅についても気を配ってほしい
- ・光駅前の明るさが暗いので、光駅拠点整備事業を進める際には、光市の玄関口にふさわしい、「光」という名にふさわしい駅となることを期待
- ・広い駐車場があり、幼児と親が遊べる遊具や芝生があるような場所を望む

#### <上下水道>

- ・光の水は素晴らしい財産。これからも大事にしたいし、これがあるから光市に住み続けたいと思える
- ・「ひかりの水」「伏流水の水」の販売を検討してほしい
- ・魚が釣れなくなったのは海が綺麗過ぎて栄養がないから。下水道基準の見直し（緩和）を。コスト削減にもつながる。
- ・海軍工廠時代から引き継ぐ水道の歴史は興味深い。もっとPRしてほしい

#### <環境>

- ・インスタの活用などごみ分別アプリをもっと若者にわかりやすく伝える工夫を
- ・エコぱーくは、子どもたちや様々な団体はもちろん、大人こそぜひ見ていただきたい。市民が見学しやすい環境づくりを
- ・室積・虹ヶ浜の松林のボランティア清掃を、子どもたちに引き継ぐことが大切

#### <交通>

- ・市民がもっとつながり、高齢者など交通弱者への支援拡大を

### **基本目標5 産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち**

#### <農林水産・有害鳥獣>

- ・高齢化で農業人口の減少を危惧している。次の担い手の育成、世代交代が必要
- ・若い世代の新規就農者に市営住宅を優先的に提供するなどの支援を
- ・イノシシなどの有害鳥獣対策は農作物を守るためなので、捕まえた動物の駆除は市でやってほしい
- ・狩猟免許を取得する際の補助など、若い人が免許をとれる環境整備を
- ・海を活用して人を呼び込むため1日漁業権を販売するような取組は面白いかも
- ・食を守るためにも一次産業従事者（生産者）への支援をしっかりと行ってほしい
- ・漁業権について厳格すぎるため、市民が気軽に楽しむことのできるよう、イベント開催時などの際には漁業権とは切り離して考えてほしい

#### <商工・雇用>

- ・少子高齢化が進んでいるが、若い人の働く場所が限られていることが課題と思う
- ・キャリア教育では雇われるだけでなく、雇う側になる選択肢も示して（再掲）
- ・コロナ禍の商品券配布はとても助かった。今後もこのような市民に対しての政策を行ってほしい

- ・若い人に魅力があるまちになるためには、雇用の確保とお店の充実が必要
- ・新産業団地の整備で雇用が広がることを期待している
- ・アカアシエビを光市の特産品として売り出してほしい
- ・岩田駅前の道路に店が張り付くための政策検討を
- ・光市の自然・歴史・文化を活かしたプロジェクト（産業）を立ち上げ、盛り上げてほしい
- ・起業人を育てる政策を検討してほしい

#### <観光・移住・定住>

- ・若い人はスマホで情報を得る。観光とデジタルはセットで考えると良い
- ・観光客を増やすために、大人から子どもまで楽しめる賑わうイベントを増やして
- ・虹ヶ浜は綺麗だが何も無い。テーブルとイスがあればキッチンカーが来るし、人も集まると思う
- ・室積地区はおしゃれな店ができていますので、積極的にPRして人を呼び込んで
- ・例えば市内の御朱印を全部集めたら景品がもらえる仕組みなど、市内を回遊してもらえ取組ができると良い
- ・イベントなどで若者が新たに団体をつくり参入しやすい環境をつくる必要があります
- ・移住者に対する就業支援や空き家などの住居支援などの充実を
- ・海水浴場の安全対策（監視船やライフセーバーなど）は十分に取組んでほしい
- ・まちを盛り上げて人を呼び込んでこようとする人の行政（国・県の助成制度も含め）の相談先を一元化するなど、わかりやすい体制づくりを
- ・花火大会がなくなるのは残念。財政難が理由の一つであるが、企業誘致なども含め、財源確保に向けた取組を進めていくべき
- ・花火大会がなくなるが、民間活力活用型虹ヶ浜にぎわい創出事業を検討する際には、民間に丸投げとならぬよう、市の考えを持って募集してほしい。また、市民の想いもくみ取る仕組み（仕掛け）が必要

### **基本目標6 市民参画と健全な行財政運営でゆたかさを創出するまち**

#### <総合計画・人口減少・まちづくり全般>

- ・計画はわかりやすく、かつ、客観的に振り返ることができるよう作成を
- ・総合計画の内容をSNSでわかりやすく発信していく
- ・お年寄りから学生、子どもまで全部含めてあったかいまちづくりをしていきたい
- ・未来の子どもたちが光市に残るためには、収入を確保できることが大事。意欲ある人を育てていくことが一番必要

- ・若者は一度外（市外）に出たとしても、「やっぱり光っていいな」と思えるまちづくり・地域づくりをしていかなければならない
- ・人口減少の中、もっと若者を呼び込む政策のウエイトを大きくした方が良い
- ・子どもが増える対策について、市民と行政が一緒になってやっていくのが良い

#### <情報発信・シティプロモーション>

- ・光市の知られていない良さをしっかりと発信していくことが大事
- ・ふるさと納税において、例えば有害鳥獣対策と観光を掛け合わせたツアーへの参加など、“事”を返礼品とすることで、財源確保できないか
- ・特産品の販売など他市の施設などに積極的に出店し、光市を知ってもらう取組を
- ・SNSやインスタグラムなど、専門業者への委託による効果的な発信の検討を
- ・SNSやメディアをうまく活用して、市内外への情報発信を継続して取り組んでほしい。「住みよさ」を発信していくと良い
- ・光市民は人懐っこい方が多いので、そこを強みと捉えてアピールを

#### <市民参画・行財政運営>

- ・市民アンケートなどで若者から多くの回答をもらうための工夫を
- ・（市民が）協議会などで学んだことを地域に持ち帰り活かしていける仕組みを
- ・委員が協議会に参加しやすい（参加したいと思える）仕組みを検討してほしい
- ・行政として、市民に勉強してもらい手を貸してほしいことについて整理することにより、市民の力をもっと活かすことにつながるのでは
- ・行政に対し、サービス受け身側の意識の市民が多く、光市民（まちづくりの担い手）の一員であるという意識改革が必要
- ・施策について、確実にいるもの、有ったらいいもの、無くてもいいものの取捨選択をしていかないといけない
- ・自主材源をどう増やすかを考えていくことが大切
- ・様々なお知らせについて、市広報だけでなくコミュニティと連携した情報発信など、行政の縦割りを超えた周知の工夫に取り組んでほしい
- ・大和地域小学校跡地について市内企業の移転を促してみても
- ・大和地域小学校跡地に、宿泊機能を備えたスケボー施設をつくり、賑わいの創出や集客につなげるのはどうか
- ・市本庁舎、市民ホールなど公共施設の老朽化が目立つため、建替え等を最優先で進めてほしい

### 3 第8期まちづくり市民協議会委員名簿

※五十音順、敬称略、任期：R5.8.30～R7.3.31

No.	氏名	主な所属団体等
1	相本 裕貴	公募委員
2	浅本 早苗	公募委員
3	有竹 英喜	光市環境審議会
4	上田 博幸	光市ボランティア連絡協議会
5	上野 愛友奈	周南公立大学（学生）
6	大内 雅央	公募委員（聖光高校）
7	岡重 光亮	周南公立大学（学生）
8	小川 敏弘	公募委員
9	川本文 吾	三島おたすけネット
10	河本 政之	光市連携・協働教育推進協議会（R6.4.1～）
11	北村 洋子	ぎんちゃんこども食堂
12	小西 俊弘	光市社会福祉協議会
13	酒井 さやか	さかいデザイン室
14	末岡 佳子	光市老人クラブ連合会
15	末永 真子	公募委員
16	立部 文崇	周南公立大学 地域共創センター
17	寺田 智子	公募委員
18	富田 美和	光市母子保健推進協議会
19	平田 義夫	光市コミュニティ連絡協議会（R6.4.1～）
20	深来 登	光市連合自治会
21	福田 真美	下松公共職業安定所
22	松原 眞喜雄	光市観光協会
23	三浦 優介	島田小学校おやじの会
24	森田 悦登	里の厨事業協同組合
25	守田 咲空	公募委員（光高校）
26	山田 めぐみ	自主防災組織アドバイザー 防災士
27	山本 統	やまぐち暮らしアドバイザー
28	山根 明子	光市男女共同参画推進ネットワーク
29	吉村 常夫	光市情報学習推進協議会
30	吉本 恵美子	光商工会議所女性会（R6.6.14～）

<途中交代・退任された委員>

平島 千代子	(～R6.6.13) 光商工会議所女性会
中村 智行	(～R6.3.31) 周防もちつき保存会
橋本 均	(～R6.3.31) 光市コミュニティ連絡協議会
吉岡 智昭	(～R6.3.31) 光市連携・協働教育推進協議会